

中学校 1～3年 技術・家庭科 (家庭分野)

考える
表す

話す・聞く
書く 読む

育成したい
国語力

身近な生活や学習の中から課題に気づき自分の考えを書く。自分の考えを大切に、学習や家庭実践の成果などを生かして、自分の言葉で自分の生活についての考えを表す。自分の経験や知識と結び付けて疑問点や課題を読み取る。

題材名 「朝食の献立を考える」

題材の流れ

本時の目標

- ・朝食の大切さ、望ましい朝食のとり方を多面的に考えようとする。【家庭生活への関心・意欲・態度】
- ・朝食の献立作成を通して、1日分の栄養量を把握し、献立内容を分析し課題に対して探求することができる。【家庭生活についての知識・理解】

事前

- ・6つの食品群への分類
- ・食品群別摂取量のめやす

第1時

- ・昼食、夕食の献立例の摂取量点検
- ・栄養のバランスを考えた朝食の献立作成

第2時(本時)

- ・前時に作成した献立分析
- ・グループ(3～4人)で協議
- ・バランスの取れた献立完成

事後・関連等

- ・まとめの掲示や配付
- ・調理実習への反映
- ・学級活動や保健体育等との関連
- ・望ましい食習慣の確立に向けて家庭との連携

本時の流れ

導入

本時のねらいを確認(一斉)
「朝食の献立をつくろう！」

展開1

作成献立の発表(グループ)

- ・個々に作成した献立(朝食分)をグループ内で発表する。
- ・友達の発表を聞き、ポイントをワークシートに整理する。

展開2

協議「よりよい朝食献立とは」(グループ)

- ・ワークシートに記録した内容をもとに、作成した献立がよりよいものになるように一人一人の献立の内容を検討する。
- *このときに健康とのかかわり、生活習慣とのかかわりなど、「望ましい朝食のとり方」も同時に考えるようにする。

展開3

献立の修正、完成(個別)

- ・協議の結果を踏まえ、各自献立を修正し、完成する。

まとめ

本時のまとめ

- ・完成した献立の確認

視点①

考える力

前時に作成した献立を5つの視点(栄養、し好、調理法、季節、費用)から整理します。発表を聞き取り、よい点、疑問点などワークシートに記入することで自分の考えを明確にします。

視点②

表す力

自分の案を説明するときには、根拠を明確にすることや結論付けることが大切です。また、友達の考えと比較し、よいところは進んで取り入れ、自分の考えをもう一度検討することも大切です。自分の考えを述べるために、聞き取ったことは、メモを取り(ワークシート)活用します。

国語力育成の視点

家庭科においては、例えば「食べること」「着ること」「住まうこと」など日常の具体的な生活事象を観察し、気づきを述べ、記録し、課題に基づいて分析することが大切です。そのことが身近な生活事象を客観的に把握し、科学的に理解することにつながります。価値判断が必要な場面を設け、自分なりに考えたことや判断したことをまとめ、解決策などを探究することが大切です。

本時は、分析することに重点を置き、課題を設定し、解決に向けてグループで協議することを通して「考える力」や「表す力」の育成を図ります。

発表者ごとに、聞き取ったことをポイントに沿って記録します。このメモを基に協議をします

朝食の献立を作ろう

盛り付け図 材料(おおよその分量)

意見を聞いて修正しよう!!

これで決まり!! 朝食献立

盛り付け図 材料(おおよその分量)

協議の結果を反映して、献立を修正します。

この部分は第1時で作成し、各自記入します。

本時で修正し完成させます。

ワークシート

聞き取りワークシート

発表者 記入者

聞くポイント(5つの視点)

	栄養	し好	調理方法	季節	費用
よい点					
疑問点					

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術
工
術

技術
・
家庭

保健
体
育

活動
特別

道徳

総合
学習